

【課題解決型研究プログラム】安全確保研究プログラム

委員会からの主要意見
現状についての評価・質問等
<p>○各プロジェクトは多岐にわたるが、それぞれに着実に成果をあげつつあり、良いスタートを切ったといえる。プログラム全体としての体系や構成をわかりやすく示せるとよい。</p> <p>○各プロジェクトの成果が、健康・環境リスクのどのような課題の解決にどう役立つかという方向性が示されるとよい。</p>
今後への期待など
<p>○他のプログラムや分野との連携がもう少しあってもよいのではないか。</p> <p>○中期計画に示されているリスクへの評価体系、監視・予測体系とはどのようなものかを分かり易く説明できるようにし、また、プロジェクトの研究成果が個人のあるいは社会の意思決定に有効活用されるよう各テーマによる成果が連携した形でのアウトプットが明確になることを期待する。</p> <p>○環境リスクも健康リスクも、膨大な曝露物質とその影響のカタログが評価・管理の障壁になっているので、これを中央突破するための新しい知見を生み出すようなプロジェクトが期待される。</p>

主要意見に対する国環研の考え方
<p>①個々に明確なプロジェクトの目標、進展に対しプログラム全体としてのまとまりが見えないというご指摘を共通していただいております。安全確保という目標自体が内在する多様性から一言にまとめることは困難とも感じますが、個々の成果がどのように安全確保の全体目標に貢献するかを明確にプロットしていけるよう引き続き検討してまいります。</p> <p>②他のプログラム、研究課題との連携は今後さらに進めるよう検討いたします。</p> <p>③リスクへの評価体系、監視・予測体系については、PJ8 等の検討を通じて、プロジェクト研究の事例にも即しつつ、科学的知見をどのように社会の意思決定に反映させていくかを考えていきたいと思っております。</p> <p>④膨大複雑な目標に対して、科学的知見がどのように社会の意思決定に貢献し得るかの考察モデルを示すよう努力したいと考えております。</p>